

# 千葉教育

## 桜

平成28年度  
No.643

4・5月

千葉の子どもたちの未来のために

### 特集

## これから求められる学力をどう育むべきか

### ○シリーズ 現代の教育事情

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 千葉大学特任教授        | 天笠 茂  |
| 文部科学省初等中等教育局視学官 | 長尾 篤志 |
| 県教育庁教育振興部指導課    |       |
| 柏市教育委員会         |       |

### ○提言

株式会社富士通研究所 知識情報処理研究所 人工知能基盤PJ 研究員 中尾 悠里



千葉県総合教育センター

# 目次

千葉教育 桜 No.6 4 3

## ◆学校自慢

地域に支えられ、成長する学校～小・中9か年を通して～

白井市立桜台中学校長

東城 孝

## ◆提言

これからの不確実な社会と、それに対応するための基本的資質 株式会社富士通研究所 知識情報処理研究所 人工知能研究センター人工知能基盤プロジェクト研究員

中尾 悠里 …2

## シリーズ！ 現代の教育事情 これから求められる学力をどう育むべきか

■これから求められる学力をどう育むべきか～次期学習指導要領を読み解く～ 千葉大学特任教授 天笠 茂 …4

■社会に開かれた教育課程の実現 文部科学省初等中等教育局視学官 長尾 篤志 …6

■新しい時代を切り拓いていくために必要な資質・能力を育む 県教育庁教育振興部指導課 …8

■論理的な思考力を育むためのプログラミング教育の推進 柏市教育委員会 …10

## 私の教師道

■学校を創る 師弟同行による「協同的な学び」 八千代市立阿蘇中学校長 相馬 剛 …12

■学校を支える 定時制高等学校の現状と課題～先生方と共に～ 県立木更津東高等学校定時制の課程教頭 池谷 道雄 …14

■学校を動かす ふだんを大切にできる教務主任であること 野田市立木間ヶ瀬中学校教諭 荒井 明 …16

■研修を生かす 恐れと感謝をもって 県立つくし特別支援学校教諭 野村 功美 …17

■授業を創る 学び合い助け合いで意欲を引き出そう 県立泉高等学校教諭 齋藤 航 …18

■子どもを知る とともに生きる 市川市立第五中学校教諭 那覇 舞 …20

■子どもを知る 言葉の力～自己開示の大切さ～ 県立国分高等学校教諭 佐々 詩織 …20

## 活・研究 長期研究生からの報告

■小学校編 体験活動の充実から児童の関心・意欲を高める理科指導 成田市立津富浦小学校教諭 長見 秀樹 …21

■小学校編 教科横断的な視点から環境問題に迫る単元開発 松戸市立新松戸南小学校教諭 渡邊 絢子 …24

■特別支援学校編 学校教育相談を進める上で大切な視点は何か 県立君津特別支援学校教諭 大坪 道代 …27

～学校における教育相談の困難さの分析を通して～

## 情報アラカルト

■千葉県立中央博物館 平成29年春の展示 「五七五で自然を切り取る～生態園を子どもの目で詠(よ)むと～」 県立中央博物館主任上席研究員 林 浩二 …30

■名勝及び天然記念物「屏風ヶ浦」の誕生 県教育庁教育振興部文化財課主任上席文化財主事 平田 和弘 …31

■カウンセリングの考え方を活かして築く保護者との信頼関係～事例から考える具体的なアプローチ～ 県子どもと親のサポートセンター教育相談部 …32

■平成29年度新規研修事業の紹介 県総合教育センター研修企画部 …33

■児童生徒のSNS利用の現状と課題 県総合教育センターカリキュラム開発部メディア教育担当 …34

■小学校外国語教育について～新学習指導要領対応科目の開講について～ 放送大学学園学務部連携教育課・課長補佐 鈴木 賢一 …35

## 学校 NOW！

■学校歳時記 次期学習指導要領の『答申』 教育創造研究センター所長 高階 玲治 …36

■笑顔をとれどもせ 創立106年の伝統と新しい試み～女子高校での支援体制づくり～ 木更津市立木更津第二中学校教諭 永谷 聡 …38

■千葉歴史の散歩道 安産・子育ての祈願寺 楽満寺 県教育庁教育振興部文化財課・主任上席文化財主事 小林 裕美

## 道標

### これから求められる学力をどう育むべきか

新しい学習指導要領の大枠は、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「子ども一人一人の発達をどのように支援するか」「何が身に付いたか」「実施するために何が必要か」ということの改善を目指している。

教科等で身に付ける資質・能力を「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力・人間性等」の3つの柱に整理し、これを実現するために、学校が教科横断的な教育課程編成を行う「カリキュラム・マネジメント」の重要性を強調する。そして、「主体的・対話的で深い学び」へと向かわせる「アクティブ・ラーニング」の視点から授業を見直すように求めている。

自己の考えを形成し表したり、思いを基に構想、創造したりすることに向かう「深い学び」の実現や、教科等の教育と社会をつなぐため、学びの過程の中で、物事を捉える視点や考え方を鍛えることも重要になる。

AI（人工知能）の出現など社会構造そのものが急激に変わろうとすると、学校教育を通じて子どもたちが身に付けるべき資質や能力や学ぶべき内容の全体像を分かりやすく見渡せる「学びの地図」としての役割を果たせる学習指導要領とはどのようなものかを探る。